

StorNext 5

メディア・ワークフローに適した完全なエンドツーエンド型のコンテンツ管理を実現

今日のメディア・ワークフローは極めて複雑であり、組織や企業で異なります。しかし、データの取り込みからアーカイブ化に至るまでの効率性を高め、それらを一貫して実施するというニーズは、すべての組織や企業が共通して抱えているものです。StorNext® 5を導入すると、組織や企業はコンテンツの制作、配布、アーカイブ化の性能と信頼性を高めることで、厳しい納期にも対応できるようになるほか、デジタル・ライブラリにおけるコンテンツを迅速に収益化できるようになります。

StorNext は、オープンシステムのリーダーとしての地位を維持し続けている製品です。StorNext は、トップクラスのコンテンツ制作企業において、最も要件の過酷なメディア・ワークフローの中心部分を担うソリューションとして、業界最大規模のメディア・アーカイブを管理するために使用されています。StorNext を使用すると、メディア・ワークフローのあらゆる段階において制作チームへのアクセシビリティの提供を保證できます。例えば、ファイルの取り込み段階において、業界最小の遅延と業界最高のスループットを誇る StorNext ファイル・システムを使うことで、大量の映像データを最高のスピードで取り込むことが可能となります。また、ファイルを取り込んだ後、StorNext ファイル・システムを利用することで、制作チームは SAN および LAN 接続の両方を通じて、完全な解像度のコンテンツに対して即座に高速アクセスが行えるようになります。この結果、制作チームはフレームの欠落なしに、映像データの取り込み、編集、配信を同時に行えるようになります。

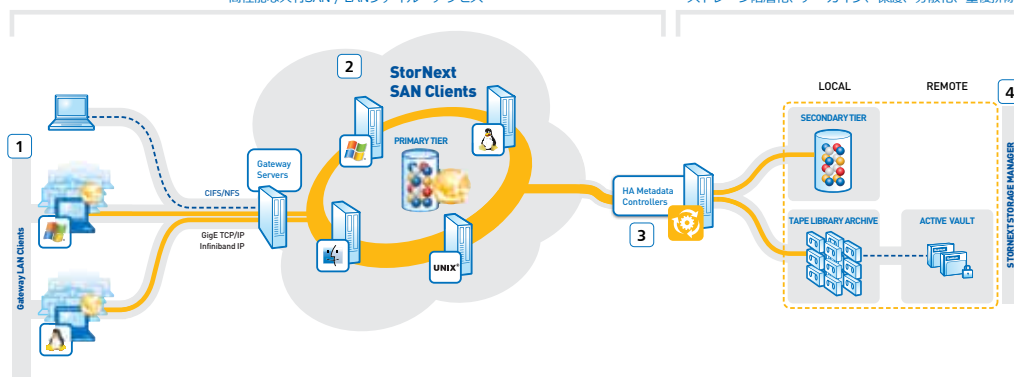
プロジェクトが完了すると、StorNext Storage Manager はポリシーに基づいて、よりコスト効率の良い長期保管用のストレージ（テープ、ディスク、革新的なオブジェクト・ストレージなど）へとコンテンツを移動させます。ただし、移動後にも、ユーザーは StorNext ファイル・システムを通じて、それらのコンテンツに即座にアクセスできます。StorNext を導入すると、ユーザーはファイル・ブラウザ内の項目をダブルクリックするだけで、アーカイブに移動したコンテンツを簡単に復元できます。また、プロジェクトがディスク、オブジェクト・ストレージ、LTO テープのどれに保存されているかに関わらず、ユーザーは自分のワークフロー・アプリケーションでそのプロジェクトを開くことができます。つまり、StorNext を導入することで、ユーザーは自分のコンテンツを永久に利用できるようになります。

主な特長と利点

- ハードウェアとソフトウェアの両者に対応した完全なエンドツーエンドのストレージ・ソリューション
- 業界最高のストリーミング性能を実現
- Mac OS X、Windows、Linux の異機種混在環境を通じて高速なコラボレーションが可能
- 最大 5 億ファイルをサポートするまで性能と容量を独立して拡張可能
- 階層化されたストレージやアーカイブに関するポリシーベースの自動移行が可能
- FC/SAN 接続や IP/LAN 接続を通じてコンテンツにアクセス
- StorNext アプライアンス向けに最適化
- SSD、ディスク、オブジェクト・ストレージ、LTO/LTFS テープをサポート
- エコシステム・パートナーが保有するワークフロー・アプリケーションのサポートを完全に統合可能

StorNextファイル・システム：
高性能な共有 SAN / LANファイル・アクセス

高度なデータ管理オプション：
ストレージ階層化、アーカイブ、保護、分散化、重複排除



StorNext は、イメージ、リッチ・メディア、放送用コンテンツ、解析データ・セットなどのデジタル資産を対象とした、高速な共有ワークフローおよび複数階層の大容量アーカイブを実現します。

StorNext ソリューションの主要コンポーネント

- 1. Gateway LAN Clients** : LAN または WAN 経由の高性能なクラスター化アクセスを提供
- 2. SAN Clients** : スケーラブルな高性能共有 SAN ファイル・システムを実現
- 3. Metadata Controller** : 仮想化された統合ストレージ・プール上の共有データへのアクセスに対して「交通整理」を実施
- 4. StorNext Storage Manager** : データを別のストレージ層（より低コストのディスクや SAN 上のテープ・ストレージ）に自動的にかつ透過的にコピーまたは移動するポリシーベースのデータ移行

StorNext ファイル・システム

StorNext ファイル・システムは、OS に関係なく、複数のサーバーから共通のディスク・リポジトリにアクセスできる異機種混在可能な共有ファイル・システムです。Windows、Linux、UNIX、Mac OS (Apple 社の Xsan を経由) の各 OS が、この共有ファイル・システムにアクセスできます。

StorNext Storage Manager

StorNext Storage Manager によって、データが大幅に増大する環境や要件の厳しい SLA にも対応する、スケーラブルなオンライン・アーカイブが可能になります。StorNext Storage Manager は、ストレージの階層化やデータ保存を担う柔軟なポリシーベースのデータ移行エンジンです。StorNext Storage Manager は、データの保存期間やアクセス頻度に応じてデータを低コストのストレージ層に透過的に移動することで、ユーザーが選択したストレージ・メディアに見合った最適なコスト・パフォーマンスを実現します。

StorNext アプライアンス

StorNext の配備や保守を簡略化するために最適化された専用のアプライアンスです。StorNext アプライアンスは完全なエンドツーエンドのソリューションを提供するものであり、これには次の製品が含まれています。StorNext Metadata アプライアンスは、高性能のファイル共有を実現します。StorNext AEL Archives は、コスト効率の良いニアライン・ストレージとオフライン・アーカイブを提供します。StorNext G300 Gateway アプライアンスは、イーサネット接続クライアントを通じて高速な高可用性アクセスを実現します。StorNext Q シリーズ・ストレージは、高速なプライマリ・ディスク・ストレージを提供します。

Lattus オブジェクト・ストレージ

StorNext は、クアンタムの Lattus™ を統合することにより、ファイルベースのアクセスやオブジェクト・ストレージへのシームレスな移行を実現しています。Lattus オブジェクト・ストレージは、大規模な長期アーカイブに関するスケーラビリティ、耐久性、アクセスなどの過酷な要件を満たしているほか、LTO テープに比べて遅延が小さいため同テープの代わりとしても利用できます。また、StorNext に統合されている Lattus には、StorNext Storage Manager が提供するすべての機能が含まれています。

Gateway Distributed LAN Clients

StorNext Gateway を通じて IP ネットワーク上に存在する StorNext データ・ボリュームに対する高速アクセスを可能にします。StorNext Gateway の IP プロトコルは、データ・ストリームごとに優れたパフォーマンスを提供し、通信の耐障害性機能を備えるように設計されています。この最適化されたプロトコルにより、標準の IP ネットワーク接続を介して回線速度に近いスループットを達成できます。また、StorNext Gateway は動的ロード・บาลancing機能を提供するほか、複数の StorNext Gateway 間での自動フェイル・オーバー機能も提供します。

StorNext Timecode-bases Partial File Retrieval (PFR)

StorNext Timecode-based Partial File Retrieval (タイムコードベースの部分的なファイル取り出し機能) は、特にメディアおよびエンターテインメント企業の StorNext Storage Manager 環境向けに設計された機能です。PFR はビデオ・コンテンツをインデックス化した上で StorNext と連携して動作することで、サイズが大きなビデオ・ファイルから小さなビデオ・クリップの取り出しを最適化します。これにより、スタッフの手間を軽減できると同時に、ハードウェア・コストを削減できます。

ワークフロー・アプリケーションとの統合

StorNext を、クアンタムの ISV パートナーが提供している広範な種類のワークフロー・アプリケーションと統合することで、シームレスなエンドツーエンドのワークフローを実現できます。新リリースのたびに、StorNext は既存のパートナー・ソリューションとの完全な互換性を維持します。また、標準の StorNext API を使用することで、新しいワークフロー・アプリケーションとの統合が簡単に行えます。

管理とレポート

StorNext は、堅牢な管理コンソールと機能強化されたレポート機能を提供します。これらの機能は、Web サービス・アーキテクチャの上に構築されているため、StorNext のユーザー・インターフェースを使用することで、ユーザービリティと監視機能が向上します。

製品に関するお問い合わせ先 : Japan_info@quantum.com

対応プラットフォーム		
ホスト OS および クライアント・タイプ	ディスク・プラットフォーム (SCSI コマンド規格に対応した任意の ブロック・レベル・デバイスを含む)	テープ・ライブラリ
Microsoft Windows	Quantum	Quantum
Scientific Linux	HP	Dell
Oracle Linux	EMC	HP
RedHat EL	HDS	IBM
Sun Solaris	NetApp [E-Series]	Oracle/Sun/StorageTek
HP-UX	Dell	Sony Petasite
IBM AIX	IBM	Qualstar
CentOS	Dot Hill	Spectra Logic
SuSE ES		
Mac OS X*		

注: 対応プラットフォームの完全なリストについては www.quantum.com をご覧ください。
* Mac OS X をサポートする場合、Apple 社の製品である Xsan が必要となります。詳細については www.apple.com/xsan をご覧ください。

当製品の販売に関するお問い合わせは右の取扱店までお願いします。

<http://www.quantum.com/jp/>

Quantum
BE CERTAIN

日本クアンタムストレージ株式会社

〒107-6012 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル 12F TEL. 03-4360-9255

Quantum、Quantumロゴ、DXi、DXi Accent、およびScalarはクアンタム社の登録商標です。その他すべての名称またはロゴは、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本カタログに記載の仕様については予告なく変更することがあります。©2013 Quantum Corporation. All rights reserved.

取扱店

ティアック株式会社 <http://www.teac.co.jp/>
情報機器事業部 情報機器営業部 海外営業課
〒206-8530 東京都多摩市落合1-47
TEL 042-356-9164 FAX 042-356-9185
StorNextサイト <http://teac-stornext.jp/>